

演習ミクロ経済学Ⅰ 第1回

2017年4月12日

定義の確認

定義 1 (厳密な選好・無差別関係). X 上の選好 \succsim に対し, 厳密な選好 \succ と無差別関係 \sim は以下のように定義される.

$$\begin{aligned} \mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 &\iff \boxed{\phantom{\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2}} \\ \mathbf{x}^1 \sim \mathbf{x}^2 &\iff \boxed{\phantom{\mathbf{x}^1 \sim \mathbf{x}^2}} \end{aligned}$$

定義 2 (選好の完備性). X 上の選好 \succsim が完備性を満たす.

$$\iff \boxed{\phantom{\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2}} \mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2 \in X \text{ に対し, } \mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^2 \text{ かつ } \mathbf{x}^2 \succsim \mathbf{x}^1 \text{ が成り立つ.}$$

定義 3 (選好の推移性). X 上の選好 \succsim が推移性を満たす.

$$\iff \boxed{\phantom{\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3}} \mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3 \in X \text{ に対し, } \mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^2 \text{ かつ } \mathbf{x}^2 \succsim \mathbf{x}^3 \text{ ならば } \boxed{\phantom{\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^3}} \text{ が成り立つ.}$$

定義 4 (ユークリッド距離). $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2 \in \mathbb{R}^n$ の間のユークリッド距離は以下のように定義される.

$$d(\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2) = \boxed{\phantom{d(\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2) = \sqrt{(\mathbf{x}^1 - \mathbf{x}^2)^T (\mathbf{x}^1 - \mathbf{x}^2)}}}$$

定義 5 (最大値距離). $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2 \in \mathbb{R}^n$ の間の最大値距離は以下のように定義される.

$$d(\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2) = \boxed{\phantom{d(\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2) = \max_{1 \leq i \leq n} |x_i^1 - x_i^2|}}$$

- 1次元の場合は絶対値も一つの距離概念である.
- 距離概念は基本的に何を使っても構わない. 状況に応じて扱いやすいものを使うと良い. ただし, どの距離概念を使うかを証明の中で明記すること.

定義 6 (ε -開球体). 集合 $B_\varepsilon(\mathbf{x}) \equiv \{\mathbf{x}' \in \mathbb{R}^n \mid \boxed{\phantom{\|\mathbf{x}' - \mathbf{x}\| < \varepsilon}}\}$ を $\mathbf{x} \in S$ の ε -開球体という.

定義 7 (開集合). 集合 S が開集合である.

$$\iff \boxed{\phantom{\mathbf{x}}} \mathbf{x} \in S \text{ に対し } \boxed{} \varepsilon > 0 \text{ が存在して, } \boxed{\phantom{B_\varepsilon(\mathbf{x})}} \text{ が成り立つ.}$$

\iff $\mathbf{x} \in S$ に対し $\varepsilon > 0$ が存在して, $\mathbf{x}' \in B_\varepsilon(\mathbf{x})$ について $\mathbf{x}' \in S$ が成り立つ.

\iff $\mathbf{x} \in S$ に対し $\varepsilon > 0$ が存在して, $d(\mathbf{x}, \mathbf{x}') < \varepsilon$ であるような $\mathbf{x}' \in S$ について, $\mathbf{x}' \in S$ が成り立つ.

定義 8 (閉集合). 集合 S が閉集合である.

$\iff S$ の が である.

定義 9 (点列の収束). 点列 $\{\mathbf{x}^k\}_{k=1}^\infty$ が \bar{x} に収束する.

\iff $\varepsilon > 0$ に対し (十分大きな) 番号 \bar{k} が存在し, $k \geq \bar{k}$ について が成り立つ

\iff $\varepsilon > 0$ に対し (十分大きな) 番号 \bar{k} が存在し, $k \geq \bar{k}$ について が成り立つ

定義 10 (閉集合その 2). 集合 S が閉集合である.

\iff 任意の $k = 1, 2, \dots$ について $\mathbf{x}^k \in S$ となり, \bar{x} に収束する 点列 $\{\mathbf{x}^k\}_{k=1}^\infty$ について, となる.

問題

問題 1. X 上の選好 \succsim が推移性を満たすとき, 任意の 3 つの消費計画 $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2, \mathbf{x}^3 \in X$ について, $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2$ かつ $\mathbf{x}^2 \succsim \mathbf{x}^3$ ならば, $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^3$ が成立することを示しなさい.

問題 2. $X \equiv \mathbb{R}_+^2$ とする. 以下の X 上の選好が完備性と推移性を満たすかどうか答え, それを示しなさい.

(a) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 - x_2^1 \geq x_1^2 - x_2^2$

(b) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 x_2^1 \geq x_1^2 x_2^2$

(c) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 \geq x_1^2 \text{ and } x_2^1 \geq x_2^2$

(d) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 \geq x_1^2 \text{ or } x_2^1 \geq x_2^2$

(e) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff \min\{x_1^1, x_2^1\} \geq \min\{x_1^2, x_2^2\}$

(f) $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^2 \iff 2(x_1^1 + x_2^1) \geq x_1^2 + x_2^2$

問題 3. ユークリッド距離, 最大値距離それぞれについて, \mathbb{R}^2 における $\mathbf{x} = (2, 2)$ の, $\varepsilon = 1$ に対する ε -開球体の形状を図示しなさい.

問題 4. 以下の集合が開集合か, 閉集合か答え, 根拠を示しなさい.

(a) \mathbb{R} における集合 $S = [0, 1] \cup \{2\}$

(b) \mathbb{R} における集合 $S = [0, 2)$

(c) \mathbb{R}^n における集合 \mathbb{R}_+^n